

見沼中学校区義務教育学校に関する説明会 会議録（北河原・地域）

- 1 開催日時 令和2年10月29日（木）午後6時～午後7時30分
- 2 開催場所 北河原公民館ホール
- 3 出席者 25名
- 4 教育委員会 鈴木教育長
 学校教育部 吉田部長、荻原参事、諸貫次長
 学校教育課 須永主幹
 教育総務課 上野主幹、久積主査、田沼

5 会議内容

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
鈴木教育長	2 あいさつ
諸貫次長	3 経過報告について説明
鈴木教育長	4 義務教育学校の設立について説明
出席者	5 質疑 今回の事はよくわからない。特に酒巻、北河原の人は良くわからないと思う。北河原小と南河原小の統合も関わってきたが、教育委員会の方針に対して意見を言って、より良い方向へ持っていく事は可能だと思う。それで北河原小と南河原小の関係はそういう事になった。手続きの経過報告をしてもらったが、教育委員会としては良かったと判断できているのか。私は義務教育学校に疑問を持ちながら計画に対しても発言をしていたが、2回の地域協議会で反対はほとんど聞かれなかった。その中で皆その方向にいくのかと思った。教育委員会に保護者説明会で保護者に聞いた結果はどうだったか聞いたら、問題ないとの話だった。そういう流れの中で、開校準備委員会に進んだ。今から思えば地区ごとで協議会を開いていればもっと意見が出たかと思う。もう一つは期日が決まっているので急いだというのがある。2回目の協議会で「それで良いか」という話があって、私は「この場で決めないでほしい」という発言をした。急いだというのがあると思うが、協議会や準備委員会に参加している人間として、手続き的にそれなりに通ってきている。そこで反対意見が出てくれば、そこで議論が出来た。嘆願書の内容に書いてあることも具体的に議論できたのではないか。これだけを読んでいると私は理解できない。具体的に何かというのがなかった。2回の協議会で反対の意見

	<p>を言ったが、他にはなかった。保護者も地域もそう思っているのであれば仕方ないと思ってしまった。北河原地区は何年もやってきたが、須加、荒木の反対の意見がない事が不思議だった。須加、荒木は平成20年の計画だと平成26年に統合している予定なのに、委員会も開いていない。教育委員会のせいだと思うが。それほど愛着のある小学校に対して地域の代表が反対だという気持ちを感じなかった。そういう状況の中で私も賛成にしてきた。手続き的に正しかったのかが大事だと思う。もう一度保護者の意見を問うという事をやっているのは、手続きがまずかったという事だと思う。教育委員会は荒木や須加の人達の気持ちをどこでどうやって知ったのかというのが不思議でならない。</p> <p>これまでの経過、地域の説明、今後予定されている協議を経て、計画を進めていく考えでいる。その上で嘆願書や上申書が提出され、特に上申書の中には意見も入っていて、内容がわからない、不正確な情報とあった。地域の方に協議会等で話されている内容が伝わっていなかった。教育委員会も情報誌などを出して、知らせてきたつもりだが、届かなかった。保護者からも義務教育学校の内容がわからないという意見ももらっている。そういった事から改めて説明会をして、保護者がどう思っているかを把握したくて意向調査を行っている。</p> <p>各学校の保護者への説明会が終わったと思うが、結論は出ていないか。</p> <p>説明会の中では保護者からも様々な意見をもらった。やはり義務教育学校に反対という意見も多くあった。ここまで来たからこのままいくべきではという意見もあった。その中で改めて意向調査をしていく。</p> <p>市報に最終候補の名前が出ているので、説明会があるから細かいスクールバスとかの順路とかを聞いてくるように言われて来た。色々な意見があると思う。</p> <p>市報10月号で教育関係の特集の中で現在進んでいる学校再編の伝えられるものを示した。市民からも問い合わせがあったが、校名は最終候補であって確定はしていない。米印で「条例改正を経て確定する」としており、予定では12月議会で学校名を変える議案を提出する予定。校名が変わるだけでなく、議会の議論の中で義務教育学校が良いとも言及されると思う。そこで議決がもらえれば義務教育学校の正式な準備として予算などを議会に上程していくことになる。教育委員会としては進</p>
吉田部長	
出席者	
吉田部長	
出席者	
吉田部長	

出席者	<p>んでいるものを皆様に知ってもらおうと色々な広報を進めている所だが、誤解を招いたという事で、今後わかりやすい形で周知していきたい。</p> <p>荒木、須加の説明会も出てきたが、資料の中をみると、前回2回の質疑の内容とここでの答えの内容がずれていると思う。1点目は、小規模特認校は他の地区から生徒を受け入れるための手段という説明は前2回でも説明していた。目的は他の学区から生徒を受け入れるという事だがあたかも無制限のように読み取れるが、小規模特認校というのは実際には小規模な学校を最低限小規模のまま維持をするため手段である。そのため、図面のとおり1学年1学級の規模を維持するに過ぎない。最初の説明の様にあたかも義務教育学校を作れば1学年2学級3学級とどんどん受け入れる事は想定していないと答えてもらっている。予算的にも検討する事にはならないだろうと話があったと思うが、それで良いか。もう1点は義務教育学校が設立されたら、3校の生徒が義務教育学校に入るという建付けで説明しているが、実際は北河原の地区は小1の段階から希望によって南河原小への入学を認める事が可能であるとあった。3学区全てが義務的に義務教育学校に入るという建付けにはなっていない。記憶が間違っていないか確認したい。</p>
吉田部長	<p>質問の中ではそのように答えていた。</p>
出席者	<p>保護者の意見を聞いて、色々な意見が出ると思うが、その後の流れはどうか。そこで義務教育学校に反対が多かったとして、小規模中学の問題は残る。今後、例えば小学校3校が合併しても10年後はどうかという長期計画もあるので、新たな方針は大変な事だと思う。その辺の流れをどう考えているのか。</p>
吉田部長	<p>3小学校の保護者の中で一番心配していたのが、複式学級の解消もあるが、その後の中学校が義務教育学校になっても生徒数が増えないのを心配していた。部活が選べるようになってもらいたいという保護者の願いがあった。万が一、義務教育学校を取りやめる事があっても、見沼中をどういう風にするかは、今後考えなければならないと思う。ただ、複式学級の解消だけは以前から問題があったし、保護者の切実な願いもあるので、第一に優先で進め、見沼中の今後についてもしっかりと検討していきたい。</p>
出席者	<p>令和4年に3校の統合という選択肢もあるか。</p>

吉田部長	選択肢の一つである。
出席者	<p>荒木、須加の説明会も聞いていたが、2つの所では色々な問題が出されていた。12月議会の条例改正は3小学校が一緒になるだけでなく、見沼中と一緒に1年から9年までの義務教育学校が設置されるというものなのか。もし、そうであれば、今この問題について疑問な意見が出されて反対が多かった。やっと義務教育学校がどういうものかがわかってきた時に、12月議会で決めるとしたら行政の対応としては保護者や地域の意見を聞いて行う事にならないのではないか。議会は市民の代表だから、最終的に図るのはわかる。地域の皆さんの反対の声が多く、やっと中身がわかってきた中で、性急に議会で決めていくというのはまずいのではないか。もう少し先延ばししないといけないのではないか。9年生までの義務教育学校が良いか悪いかの判断を、早急にするのは市民としてやめてもらいたい。1点目は議案の中身を知りたい。2点目は学校統廃合の問題は、他の地域もこれからどんどん計画がある。学校の問題は大きい問題なので行田市全体に学校の統廃合について説明する機会が必要だと思う。全体が何も見えていない。</p>
吉田部長	<p>条例の中身は、公立学校設置管理条例の中に小学校や中学校の名前が羅列されている。計画通り進めば、小学校の荒木、須加、北河原がなくなり、中学校の見沼中がなくなる。小学校、中学校の次に義務教育学校という新たなカテゴリーに見沼さくら小中学校が入る。義務教育学校という新しいカテゴリーが入ってくるので、義務教育学校で進めて良いかも含めて議論する事になると考える。早すぎるのではないかについては、計画が令和4年開校ということでこれまでも準備してきた。12月議会でしっかりとやっておかないと、その後の準備に影響してくる。令和4年4月の開校に影響してしまうので12月議会で上程させてもらう。学校問題は市内の皆様にとしっかりと考えていただき、意見をいただきたい大きな問題なので、できるだけ情報を発信していきたい。</p>
出席者	<p>そうすると、12月議会で義務教育学校が決まるという事だが、今やっと皆さんが思い思いの意見を述べてきた。教育内容についても問題が多い。今やっと市民がわかってきた時なのに12月議会にかけるというのは早急だと思う。</p>
吉田部長	先ほど回答したとおり。
出席者	12月議会にかけるのか。

吉田部長	<p>保護者に意向を確認している。その結果が近いうちに出るので、結果を見て、地域の意見を合わせて総合的に判断していく。場合によっては計画をストップする事も考えられる。そうした時には皆さんに報告し、方向をどう修正するかを考えていきたい。そうすると12月議会の議案の上程は見沼に関しては難しい。並行してやっている中央小と星宮小の方は問題なく進んでいるので、忍小学校の改正は12月議会に提出できると考えている。</p>
出席者	<p>入らない可能性があるのか。</p>
吉田部長	<p>まだわからない。</p>
出席者	<p>12月議会にかけなかったら令和4年の統合は難しくなるのか。</p>
吉田部長	<p>義務教育学校は難しい。改修工事を伴うので、議決がないと予算をあげる事ができない。改修を伴わないような統合であれば可能。</p>
出席者	<p>保護者が一番心配していたのは、義務教育学校が出来ない場合に複式学級の発生している学校が他校との統合がなくなってしまうのかという所だが、義務教育学校の設立はなくなっても令和4年の複式学級の解消は行うと説明していたが、北河原地区にもはっきりと説明してほしい。</p>
吉田部長	<p>保護者も心配していたが、教育委員会としても学校再編成の一番の目的は複式学級の解消なので、今の所は義務教育学校だが、計画が止まった場合には3校など、令和4年には複式学級の解消をしていきたいと思う</p>
出席者	<p>北河原については南河原との問題がずっとあって色々意見はある。確認だが、見沼中を大きくする狙いもあると思うが、義務教育学校になった場合でも希望によっては南河原小に入る事が認めるという事か。南河原との統合はいつになるかわからない。そうすると、北河原の人は南河原に行くのではないかと思う。全国で統合した学校はたくさんあるが、プラス面もあるがマイナス面も結構多い。一番は経費の削減だと思う。子どもにとっては統合がプラスにならない。例えばスクールバスで通うとなると体力が落ちる。今まで統合した学校の調査で事実としてある。スクールバスで通う子と歩いてくる子は昇降口でトラブルがある。人間</p>

<p>諸貫次長</p>	<p>的にいろいろ問題がある。バスで行くとなると、今までの体力を維持できる子は少なくなってしまう。一番心配しているのは学校を支える地域の力が3校あったのが一緒になったから3校分のままでなく、半分とか1校分くらいに減ってしまう。学校が遠くなるという事は地域が学校を支える気持ちが薄れる。その辺をどう考えているか。統合しない良い事がある事を理解してもらいたい。各地区から反対があったから、議会にかけてなるべく早く進めてしまう様な事はせず、各地区の住民の気持ちを十分聞いてほしい。南河原への選択肢は残るという事で良いか。</p> <p>現状では中学校に上がる時に南河原中を選択できる。義務教育学校は9年間を通したカリキュラムなので、できれば地域がまとまって選択してもらうのが最善だと思う。保護者の意向としては安全に通学させたいというのが強い。そのため、今までは中学校からだったが、小学校からその選択の幅を残す必要があると思って、説明会でも説明した。学区としては見沼中になるが、現状で選択が出来る以上、残していく必要はあると思う。</p>
<p>鈴木教育長</p>	<p>学校を支える地域の力が今よりも薄れるという懸念は、特に現在子供達と関わっている地域の人にとっては、遠くなればなるほど感じる所だと思う。実際に市全体の再編成計画、基準を作って、今後この地域だけが人口減少でなく、市全体が減少するのがわかっている。その中で学校を今後どうしていくのかという観点で、市内全体の児童生徒数減少と適正な教育環境とは何かを基本に考えたのが再編成計画となる。その中で、子供達にとって学習面でも生活面でもより適切な規模がどうなのかを国の基準や市の人口減少の様子を勘案し、行田市全体で学級編成ができる2クラスが適正規模となった。それだと将来的には中学校4校、小学校7校、中学校1校に小学校が1～2校となる。東西南北を考えた時に、その基準だけで考えていくと北部地域に再編成の計画段階で学校がなくなってしまう。地域の人を力を使わないとこれからの学校はやっていけないので、厳しい内容になってしまう。他の東西南では2クラスの学校が維持できる様な400～500人の規模の計画だが、北部だけは地域と出来るだけ繋がりが持てるような学校を残していきたいという計画とした。見沼中学校区の児童生徒数の見込みを見ても、現在の複式学級のある学校を残したとしても、子供達に十分な教育環境が提供できない。小学校同士の再編であっても10年後も2クラスにはできない。もともと市全体で考えた時に2クラスの学校を作っていくのは、この先非常に厳しい状況があり、地域の方と繋がりを保ちながら、1クラスでもきめ細やかで質の高い教育が受けられる学校を新たな形で作ってい</p>

	<p>くという事で義務教育学校を計画の中に入れた。1校に1つの地域の関係は、大きくなれば薄くなるかもしれない。まして関わってくれているのはシニアの元気な皆さんが多いので、集まって学校に行くというのも厳しいと思う。北部地域以外の中学校区に子供達が行ってしまうとさらに地域との繋がりがなくなってしまうという思いもあって、北部地域は小規模特認校制度を使って1クラスを維持しながら、きめ細やかな教育で専門性のある教育を小学校段階から順次できるような質の高い学校を作る計画を進めている。保護者説明会を4回し、説明を聞いた上で保護者に考えてもらい、意向調査をする。</p>
出席者	<p>最初は新しい校舎を作るとなっていたが、学校統合は文科省から多くの補助が来るはず。今回のような統合についても国からの補助を見込めるのか。</p>
諸貫次長	<p>学校の再編にあたって色々な工事をする必要があるが、普段の補助は3分の1だが、基準額もあるが増築や改修にしても2分の1の補助がある。</p>
出席者	<p>ずっと前から2分の1なのか。</p>
諸貫次長	<p>正確な所はわからないが、再編でも以前は3分の1の時期もあったと思う。人口を増えている時代に新設校を作るときは2分の1で、今まででも多い所だと思う。</p>
司会	<p>6 閉会</p>